



行きたくなる公園づくりからはじめよう!

# 魅力ある まちづくり プロジェクト



「昭和区の魅力アップ策を考えよう」実施報告書



## はじめに



これからのまちづくりに欠かせない視点は、変わりゆく社会情勢や多様化する人々の価値観・ライフスタイルに即応すること。「いつまでも住み続けたいまち」を共に作り上げていくため、住民参加型あるいは住民と行政の協働型で進めていくことが必要となります。

そうした状況を受け、昭和区では、「住み続けられるまち」「住み続けたいまち」の実現を目指し、次代を担う学生たちと共にアイデアを出し、実践していくことになりました。

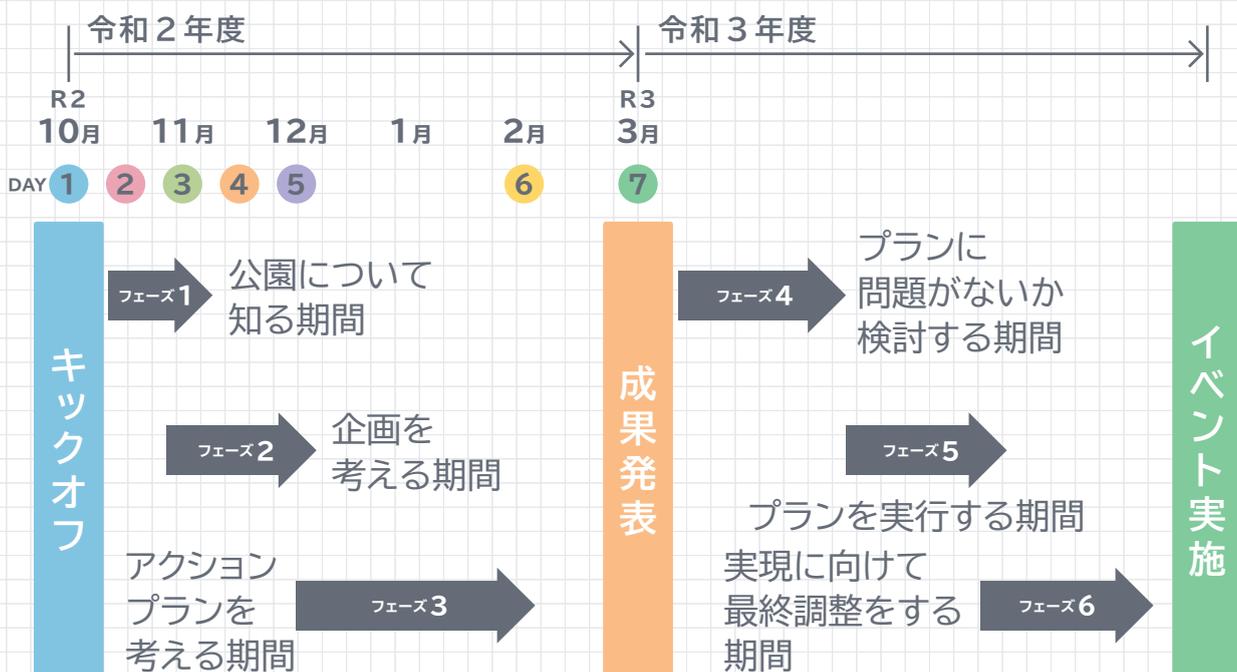
テーマは公園。昭和区には大規模公園がバランスよく配置されています。区民の憩いや触れ合い、賑わいの場である「公園」に着目し、公園の魅力を改めて発掘し、発信することで、区の魅力向上につなげていきます。

本講座では、フィールドワークを行い若者たちに公園の現状を知ってもらったうえで、ワークショップを開き公園づくりのためのアイデアを出し合ってもらいました。そのアイデアの中から、実現できそうな企画を立て、実現までのプランを策定。実現に向け、具体策を話し合い、成果発表の日を迎えています。

若者たちによる行きたくなる公園づくりは、いまスタートしたばかり。彼らのアイデアがどのような形で実を結ぶのか、次年度以降も事業として継続し、今後の推移を見守っていきます。



## 行きたくなる公園づくりに向けたロードマップ



## 魅力あるまちづくりプロジェクト 参加者名簿

名古屋国際高校	1年	井上 詩映良
名古屋国際高校	1年	海川 真菜
名古屋国際高校	1年	岡田 琉果
名古屋国際高校	1年	北島 悠理
名古屋国際高校	1年	鬼頭 美優和
名古屋国際高校	1年	コバシツク カミレ
名古屋国際高校	1年	De Oliveira Matsda Aline Kaori
名古屋国際高校	1年	鳥井 康司
名古屋国際高校	1年	中根 隆希
名古屋国際高校	1年	西尾 祥
名古屋国際高校	1年	林 花恋
名古屋国際高校	1年	平塚 杏紗
名古屋国際高校	1年	梁 嘉儀
名古屋市立大学	2年	鈴木 千尋
名古屋市立大学	2年	永井 和志
名古屋市立大学	3年	大野 沙耶伽
名古屋市立大学	3年	中西 理紗
名古屋市立大学	3年	長谷川 裕香
名古屋市立大学	3年	宮島 可奈絵
名古屋市立大学	3年	山田 歩実
名古屋市立大学	4年	佐藤 泰造
南山大学	2年	須崎 諭
南山大学	2年	高田 祥希
南山大学	2年	鶴見 勇介
南山大学	3年	今井 優花
南山大学	3年	富田 来羅
南山大学	3年	宮嶋 佑佳
南山大学	3年	和久井 崇裕
名城大学	2年	原 美織
名城大学	2年	藤沢 はな
名城大学	2年	伊藤 健也
名城大学	2年	山田 楓人
名城大学	3年	宮崎 翔伍
名城大学	3年	宮崎 凌介
名古屋工業大学	4年	山下 昇真
名古屋工業大学大学院	修士1年	金子 孝輔
金城学院大学	3年	二村 咲侖
中京大学	1年	増田 裕斗
社会人		森川 陽香梨



● 日時：令和2年10月15日(木) 18:00～20:00

● 場所：昭和区役所講堂

本講座1回目となるオリエンテーションが行われました。テーマとなる公園には、子どもの遊び場や運動の場だけではなく、コミュニティ活動の場や防災機能、環境的効果などさまざまな役割があることが紹介されました。それを踏まえた上で、川名公園と興正寺公園をフィールドにこれからの時代に合った公園の利活用方法を参加者のみなさんで考えて、実践していくという本講座の趣旨が説明されました。

その後、参加者たちは6つのグループに分かれてのグループワークを実施。「どうしたらもっと人が集まる場所になるのか」「こんなイベントがあったら行ってみたい」といった意見交換が活発に行われました。



● 日時：令和2年10月24日(土) 13:30～16:00

● 場所：川名公園、興正寺公園

里山雑木林の管理保全など、自然環境保護活動に取り組んでいる環境カウンセラーの篠田陽作さんを講師に招き、2つの公園を巡りました。

川名公園では、地域の住民らで結成された川名公園森づくり隊によって一から育てられた「環境学習の森」やカブトムシなどの幼虫を育てるために「ビートルベッド」、さまざまな花を育てている「ゆめ緑道ごきその苗場」などの施設を紹介。篠田さんは自然と共生することの大切さを訴えました。

興正寺公園では、滅多に足を踏み入れないような森の奥を散策。集団自生をしているのは名古屋では興正寺公園しかないという暖地常緑広葉樹のサカキの群落などを見学しました。





● 日時：令和2年11月1日(日) 10:00～12:30

● 場所：川名公園、興正寺公園

ビオトープネットワーク中部会長で1級ビオトープ計画管理士の長谷川明子さんと一緒に2つの公園での学びを深めました。

川名公園では、「トンボ池」と呼ばれるビオトープなどを見学。「秋にはたくさんのトンボの姿が見られます」と言う長谷川さんは、生き物が暮らせる貴重な場所で、川名公園森づくり隊が草刈りや池干しを行っていることで池の環境が守られていることを説明してくれました。

興正寺公園では、ビオトープや森の中を見学。また、長谷川さんが全17項目あるSDG'sの目標を覚えることができる歌を紹介してくれました。最後は参加者全員でその歌を歌唱。楽しい時間を過ごしました。



● 日時：令和2年11月12日(木) 18:00～20:00

● 場所：昭和区役所講堂

この日は、5つのグループに分かれてグループワークを実施。10月24日と11月1日に行った2つの公園(川名公園と興正寺公園)の見学結果を踏まえて、参加者がそれぞれ感じた課題を出し合いました。

その後、個人ごとに課題解決のためのアイデアを考え、発表。アイデアが似ている人やコラボしたい人など同士で集まり、4つのチームが結成されました。「チーム川名公園(防災とイベントの2チーム)」は川名公園が防災公園であることの広報とイベントの開催、「人GO!」は興正寺公園の知名度アップ、「ザッキー」は興正寺公園に人をステイさせる対策などに取り組んでいきたいという意見が出されました。





● 日時：令和2年12月3日(木) 18:00～20:00

● 場所：昭和三区役所講堂

冒頭、4つのチームのリーダーがそれぞれどんな企画を考えているかを発表。なごや環境大学実行委員でイベントの企画・運営に詳しいプランナーの平石晶代さんからアドバイスをもらった上で、企画案のブラッシュアップを行いました。

話し合いの結果、「チーム川名公園(防災チーム)」は川名公園での小学校高学年向け防災キャンプの実施、「チーム川名公園(イベントチーム)」は同公園でのイースターフェスティバルの開催、「人GO!」は興正寺公園での祭りイベントの開催、「ザッキー」は同公園へのハンモック設置を、それぞれ企画。実現に向けて取り組むことを確認しました。



● 日時：令和3年2月4日(木) 18:00～20:00

● 場所：昭和三区役所講堂

この日も各チームに分かれ、これまでのワークショップで話し合われてきた企画案を実行に移すための具体的なアクションプランの策定に取り組みました。その後、各チームでまとめたプランを発表。全ての案を次年度以降に実現に移すため、具体的に取り組んでいくことでまとめました。

チーム川名公園(防災チーム)：川名公園での防災キャンプの開催

たまご(チーム川名公園  
イベントチーム  
が改称)：川名公園でのイースターフェスティバルの開催

ザッキー：興正寺公園にハンモックを設置

人GO!：興正寺公園でお祭りイベントを開催





● 日時：令和3年3月18日(木) 18:00～20:00

● 場所：昭和三区役所講堂

この日は、約半年間にわたる活動の最終日。4つのグループが、フィールドワークやグループディスカッションを通じてまとめた、行きたくなる公園づくりのためのアイデアプランを披露しました。発表用の資料作成はもちろん、プレゼンテーションの内容もすべて参加した高校生・大学生が考えたもの。自分たちの思いを分かりやすく伝えようとする姿が印象的でした。各グループの発表テーマは以下の通りです（詳細はP7～10）に掲載

- プレゼン ① チーム：ザッキー  
テーマ：公園内にハンモックを設置し、くつろぎの空間を提供
- プレゼン ② チーム：人GO!  
テーマ：8月に地域密着型の夏祭りを開催
- プレゼン ③ チーム：たまご  
テーマ：2022年3月にイースターフェスティバルを開催
- プレゼン ④ チーム：チーム川名公園  
テーマ：小学生を対象とした防災キャンパイベントを開催

プレゼンテーション終了後には、若者たちの発表を聴いた大学教授や行政のまちづくり担当者らとの意見交換・質疑応答が行われました。「若者らしい面白いアイデア」「発表方法にも工夫が感じられた」…。学生たちの努力を評価する声も一方、それぞれが企画したアイデアの実現に向けて、どのような予算措置や集客方法を考えているのかといった鋭い質問が投げかけられる場面も。企画をした若者たちの思いに大人たちも応え、中身のある熱い議論が交わされました。

最後に、4つのプランの実現に向けて、次年度以降も取り組みを進めていくことを確認しました。





## テーマ 興正寺公園に人をステイさせる

休日でも利用者数の少ない興正寺公園に多くの人（とくに若者）を集めるため、ハンモックを設置し、くつろぎの空間を提供。また、移動販売カフェを誘致するなど、来た人に長く滞在してもらえる工夫も行います。

### 興正寺公園とは

- ▶ 様々な種類の樹木が生息する自然豊かな公園
- ▶ 八事山を散策できるハイキングコースがある
- ▶ ハイキングコースの途中にベンチが設けられている

### 問題点

- ▶ 休日でも人が少ない
- ▶ 若者が少ない
- ▶ ベンチがあまり使われていなかった
- ▶ ポイ捨てが多かった



### 改善点

- ▶ 若者を中心に人を集める
- ▶ 来た人を長く滞在させる
- ▶ ポイ捨てによって森が汚されないようにする

### 詳細

- ▶ 常設のハンモック  
→ 自立式のハンモック(誰でも利用可能)  
→ 木に設置するハンモック(子供や高齢者にも配慮)
- ▶ セルフサービスのハンモック  
→ ハンモックの設置を体験してもらう



### ハンモックの促進方法

- ▶ 移動販売カフェを誘致
- ▶ QRコードを導入して移動販売カフェでの割引き
- ▶ 飲み物等の容器に土に還るプラスチックなどを採用



### まとめ

- ▶ ハンモックを設置し、くつろぎの空間を提供
- ▶ 移動式カフェを加えて、ステイしやすくする





## テーマ 興正寺公園で夏祭りを開催する

興正寺公園の怖くて近づきにくいというイメージを払拭し、知名度をアップさせるため8月に夏祭りを開催。地域密着型の盆踊り、灯籠ワークショップ、肝試しなど、唯一無二の経験を演出します。





## テーマ 川名公園でイースターフェスティバル

幅広い世代間の交流を促進することで川名公園を賑わいのある公園にするためにイースターフェスティバルを開催。近隣の小学生が主体となったブース出店や仮装体験などのイベントを行います。

### 川名公園を視察して感じたこと

- ▶ 駅から近い場所に位置しており利便性が高く、広大であるため多くの人が集まることができる。
- ▶ その一方、公園を利用する世代に偏りがあるように感じた。



様々な世代の方々が交流し、賑わいのある公園を作る。  
春に咲く多様な草花を最大限生かし自然豊かな環境を楽しむ。



### 提案概要

- ▶ イースターフェスティバル
- ▶ 世代間交流を目的としたお祭り
- ▶ 日程：2022年3月（土曜日）
- ▶ 対象者：区民のみならず、（年代を問わず）
- ▶ 主催関係者の規模：50名程度
- ▶ 客数規模：300名程度



### 実施内容 ①模擬店

- ▶ 近隣小学校の生徒が主体となって、模擬店やものづくりを行うブースを出す。
- ▶ 模擬店は簡単な料理や飲み物、お菓子の販売など
- ▶ 企画運営は地元の大学生やボランティアがサポート



### 実施内容 ②フォトスポット

- ▶ 桜の木のイミテーションに卵型の飾りを吊るしたり、パルーンオブジェを置いたりして華やかさを出す。
- ▶ 卵型の飾りには願い事や絵など、好きなことを書く。



### 実施内容 ③モノづくりコーナー

- ▶ エッグにお絵かきをしたり、お花のブーケを作ったりする。イースターらしき色を出しつつ、川名公園の自然を生かす。
- ▶ また、卵型の飾りにデコレーションをするコーナーも置く。



### 実施内容 ④仮装体験

- ▶ イギリスのイースター祭ではお花の帽子をかぶる人もいる。
- ▶ お花の帽子を作り、仮装体験をする。





## テーマ 川名公園で楽しく学べる防災キャンプ

地域の防災拠点という川名公園の機能をより知ってもらうため、小学生を対象とした防災キャンプイベントを開催。バッククッキング、防災スリッパづくり、暗闇体験、防災シュミレーションゲームなどを実施します。

現状分析① 川名公園の視察 2

防災機能がたくさんあることが分かった！

小学生くらいの子どもがたくさんいた！

緑が豊かで広々している！

課題① 3

防災設備はちゃんとみんなに知られているのかな？

いざ災害が起こった時、ちゃんと防災設備を使えるのかな？

課題②・目的 4

自然災害を自分事として捉えてもらう必要がある

**目的**

楽しく学べる防災キャンプを通して川名公園を地域の防災拠点に！

対象・開催時期 5

対象者	子ども：広路小学校に通う小学校高学年 大人：参加する子どもの親、広路小学校のPTA(様々な体験に参加していただくとともに運営の補助もしていただく予定)
人数	20～30名程度
開催時期	10月頃

まとめ 6

公園 防災キャンプの開催 人

川名公園の防災機能について知ってもらう

防災に対する意識UP!

防災の観点から川名公園の重要性を再認識

子ども→大人→地域へ意識の共有

川名公園=地域の防災拠点に！

7

防災キャンプに参加してみませんか？



## 「昭和区の魅力アップ策を考えよう」実施報告書

編集発行

「なごや環境大学」実行委員会

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23-13 伏見ライフプラザ13階

TEL 052-223-1223

昭和区役所地域力推進室

〒466-8585 名古屋市昭和区阿由知通三丁目19番地

TEL 052-735-3822

発行年月 令和3年3月